2026 年 9 月 5 日

『みんなのスポーツ』 8月・9 月合併号(№526)から学ぶ

林　但

平素より協議会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

表記、公益社団法人　全国スポーツ推進委員連合機関誌の 8 月・9 月合併号は「地域資源としてのスポーツによるまちづくり」の特集号です。

私の視点で気づいたこと・感じた事、参考になる点を3点記載します。

(1) **身体で覚え、心でつながる！「親子防災運動会」 大阪府狭山市**　ワッやっているところがある、冊子1ページが目に留まりました。私の学区でも今年度は防災を意識した種目を健民運動会取り入れました。以前高知県事例を見たのがきっかけです、消防署、西分署、地域消防団の方とも何度か相談し来月 18 日に行います。今回の記事を読んで考え方は間違っていなかった、もっと地域の方を巻き込み行っていくにはどうすればよいかなどいろいろな気づきがありました。今回行って地域の方がどんな反応をされるか期待とちょっと不安もあります。今月は小学校を拠点とした防災訓練や小世帯数町内会は隣同士で体験会のようなものを計画しているところもあり、行事の合間をぬってみてみたいと考えています。

また、今回の記事コラムにあるように、楽しみながら学ぶ、「防災×運動会」の魅力やデジタルを活用した学校との「周知連携」の考え方も考えていきたく、同じことを考える仲間を探していきたいと思います。

(2) **わが町の健康・体力つくり　岡山県倉敷市**　スポーツフェスティバルでキンボールを使っての行事の写真が目に入る。江戸時代は天領、今は人口が 47 万人(中国地方第 3 の都市)、スポーツ推進委員は 107 名で男性:75 名、女性 35 名。人を繋ぐ「地域スポーツ教室」を行っておられ、スポーツを始めるきかっけを作り、生活の中にスポーツを取り入れて元気に笑顔で長生きすることを目指しているとのこと。「ニュースポーツ大会」は日ごろの取り組み状況の成果発表会の場、体験から一歩進めて、もっと楽しみたい方の交流の場のため趣向が凝らしてある。地域のつながりを深めるイベントとして企画・運営されており、この運営を通じてスポーツ推進委員同士の繋がりも深まっているとのこと。SNS での情報発信にも力を入れておられるとのこと。

(3) **理論　スポーツ・健康まちづくりによる地域価値の創出**　記事の冒頭で紹介あったが、スポーツ庁は 2021 年度に左記の取り組みに対して優良自治体の表彰がおこなわれ、横須賀市も 2023 年に受賞している。確かに当時立てた計画に対して、スポーツ推進審議会委員としてもこれらの取り組みに対して推進はもとより、計画全体のチェックや昨年議員立法で追加された内容についても取り組んでいかなければいけないと、今回の記事を読んでいて感じました。

今月号で3つの事に記載致しました、知っていることが多いと思う方もあるかもしれませんが、気づ

いたことでできることから始めて（行動）みませんか？

＊本冊子は有益で私たちの活動のヒントや答えがあるように私は思います。年間購読されなかった方は、個別にも購入はできますので一度読んでみてください。問題意識や感度を高めていくと紹介されている事例が使える場合と横須賀ではこのままでは使えないがこうすればできる。こんな方法もあるなど思います。ここへきて「みんなのスポーツ」は紙面が大きく変わってきていると感じます。紹介されていることがそのまま使える、本当に読みやすい、わかりやすい事例が多いなどです。

活動はみんなで是非一緒に取り組んでいきましょう！　　以上